

全学共通科目 公開授業

担当：濱本真一 助教

統計情報で社会・経済を診断する



立教大学 社会情報教育研究センター

@Rikkyo_CSI

プロフィールを編集

本講義は、公的統計情報をもとに、人口、労働、家計などの実社会における様々な問題を把握するスキルを養うことを目的とした科目です。公開授業では、「民間企業での統計利活用」と題して、pixiv (株) のデータ駆動推進部門の責任者をお招きしました。前半では、pixivのデータを活用した分析の一例として、投稿数や閲覧数から見るコンテンツの流行の可視化など実務上でのデータ活用例をご紹介します。後半では、pixivの実データを使用した分析課題に取り組むワークショップを行いました。

99,789 フォロー中 103,127 フォロワー



Analystnyan

@Rikkyo_CSI · 11月1日

民間企業においても、統計データによる意思決定は非常に重要であり、統計データに関わる様々なスキルを持った人材が求められています。ITの分野では、大きく分けてデータ分析とデータ活用の2つの専門性が求められています。前者の仕事をする人はデータアナリスト、後者の仕事をする人はデータエンジニアと呼ばれています。データ分析は、分析課題の理解→仮説設定→検証というステップで進みます。それぞれのステップで求められるスキルや知識があります。課題理解のステップでは、課題を適切に理解したり、複数の課題を適切に分類する知識が必要です。仮説作成のステップでは、持っているデータで検証できる仮説を作らなければなりません。検証のステップでは、データ収集やデータ分析に必要な統計学の知識が求められます。実務では、全ての情報がきちんと手に入らないことも多々ありますので、そうしたデータでも過不足のない分析を行うための統計知識が必要となります。



18,249

70,510

23,747

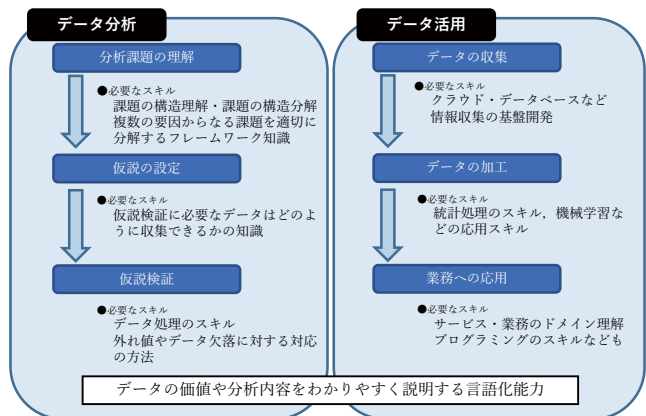


Engineernyan

@Rikkyo_CSI · 11月1日

一方、データ活用は、データの収集→データの加工→アプリケーションや業務への反映というステップで進みます。収集ステップでは、データを集めるためのシステムを作るスキルが必要となります。加工ステップでは、集めたデータを利用できる形に加工します。反映ステップでは、加工した情報を利用して、顧客体験の向上や業務効率化を行います。また、どちらの業務でも「言語化能力」が必須です。データを正しく活用することで長期的には大きな利益を生み出せますが、データを集め、正しく理解するシステムを作るのは簡単ではありません。そのためデータに携わる人はデータの価値や分析内容を簡潔に説明しなければなりません。分析内容・活用内容が高度になるほど結果を理解するのが難しくなるので、より高度な説明のスキルが求められるでしょう。

IT領域におけるデータ利活用と必要なスキル



17,701

80,004

19,806

社会調査や統計学、データサイエンス副専攻の学びを实践！学外コンテストへチャレンジ！

→詳細はニュースレターVol.3をご覧ください

統計データ分析コンペティション（独立行政法人統計センター）

教育用標準データセット（Standardized Statistical Data Set for Education: SSDSE）を利用した総務省統計局が実施する統計分析コンペティション。
<https://www.nstac.go.jp/statcompe/>



マーケティング分析コンテスト（野村総合研究所）

野村総合研究所が収集した消費者マーケティングデータを学術研究やマーケティング実務へ活用することを目的としたコンテスト。
<https://www.is.nri.co.jp/contest/>



和歌山県データ活用コンペティション（和歌山県）

データ活用による県内産業の活性化と次世代のデータサイエンティスト育成を目的とした「和歌山県データ活用コンペティション」を開催。
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/d00201199.html>



経営科学系研究部会連合協議会データ解析コンペティション

経営科学系研究部会連合協議会が20年以上にわたり開催する「共通の実データを元に、参加者が分析を競う」ことを目的としたデータ解析コンペティション。
<https://jasmac-j.jimdo.com/>



スポーツデータ解析コンペティション

データスタジアム株式会社が提供する野球およびサッカーの実データを利用し、応用研究の促進と研究結果を現場に還元することを目的とするスポーツデータ解析のコンペティション。
<https://estat.sci.kagoshima-u.ac.jp/sports>



RESASアプリコンテスト

人口動態や産業構造、人の流れなどの官民ビッグデータを集約し、可視化するRESAS(地域経済分析システム)を利用した地域経済の分析や、アプリケーションを募集するコンテスト。
<https://opendata.resas-portal.go.jp/contest3rd/index.html>



● 次回NewsLetter予告！

アメリカの統計に関する夏期講習（ICPSRサマープログラム）に参加した経営学研究科の森西さんのインタビュー記事の一部を掲載します。

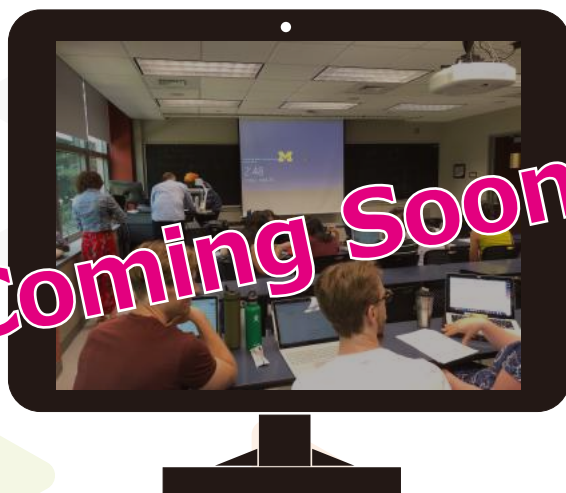
詳しくは→

立教ICPSR

検索

社会情報教育研究センター(CSI)では、ICPSRサマープログラム参加を奨励しています。サマープログラムの参加申し込みは4月末までですので、ご関心のある方はお早めにご相談ください。

Coming Soon!



● 関連情報

データサイエンス副専攻と関連する資格や検定試験についての情報です。

ともにデータサイエンス副専攻を主管する社会情報教育研究センターで対応していますので、質問等がある場合は下記連絡先までお気軽にお問合せください。

● 社会調査士資格

「社会調査士」は、一般社団法人社会調査協会によって認定される資格で、インタビュー調査やアンケート調査の方法を学び、統計や世論調査などの結果を批判的に検討するなど、社会調査の現場で必要な能力を持った「社会調査の専門家」のことです。資格取得のためには、標準カリキュラムのA~Gに対応している科目を取得済みであること、学部を卒業することが必要です。

● 統計検定

「統計検定」とは、統計に関する知識や活用力を評価する全国統一試験です。データにもとづいて客観的に判断し、科学的に問題を解決する能力は、仕事や研究をするための21世紀型スキルとして国際社会で広く認められています。

■ News Letter 第4号 2019年12月発行

- 編集責任者：水上徹男（CSIセンター長）
- 編集者：山口和範（統計教育部会）
- 編集・発行：社会情報教育研究センター（CSI）

- Tel : 03-3985-4459
 - Email : csi-info@rikkyo.ac.jp
 - <https://spirit.rikkyo.ac.jp/csi>
- 立教大学 池袋キャンパス 8号館4階

